

ISSB公開草案の概要(6) S2基準案「指標及び目標」

2022年5月

SSBJ設立準備委員会 事務局

- ❖ 2022年3月31日、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）は、設立後初めての公開草案を公表しました。（**コメント期限：2022年7月29日**）
- ❖ 本資料は、以下の公開草案に関して、**S2基準案のコア・コンテンツのうち、「指標及び目標」**に関する開示要求をご説明することを目的としています。
 - ▶ ISSB公開草案
「IFRS S1号『サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項』」
（S1基準案）
 - ▶ ISSB公開草案「IFRS S2号『気候関連開示』」 （S2基準案）

2021年11月3日及び2022年3月31日にIFRS財団から公表された以下の資料をSSBJ設立準備委員会事務局が仮訳し、本資料に反映しています。

- General Requirements for Disclosure of Sustainability-related Financial Information Prototype
- Climate-related Disclosure Prototype
- [Draft] IFRS S1 General Requirements for Disclosure of Sustainability-related Financial Information
- [Draft] IFRS S2 Climate-related Disclosures
- Comparison [Draft] IFRS S1 General Requirements for Disclosure of Sustainability-related Financial Information and [draft] IFRS S2 Climate-related Disclosure with the Technical Readiness Working Group prototypes

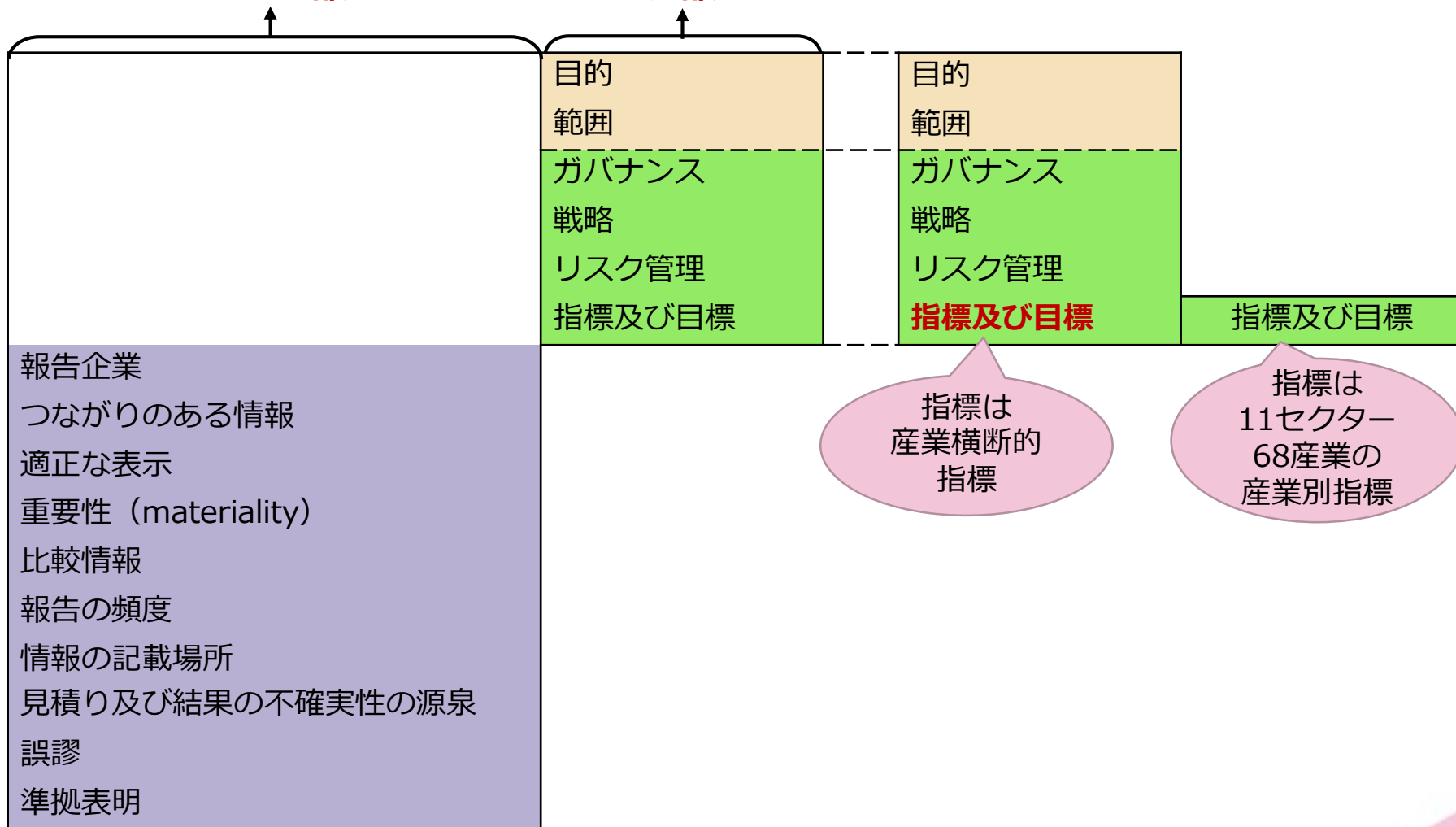
S1基準案とS2基準案の関係

S1基準案

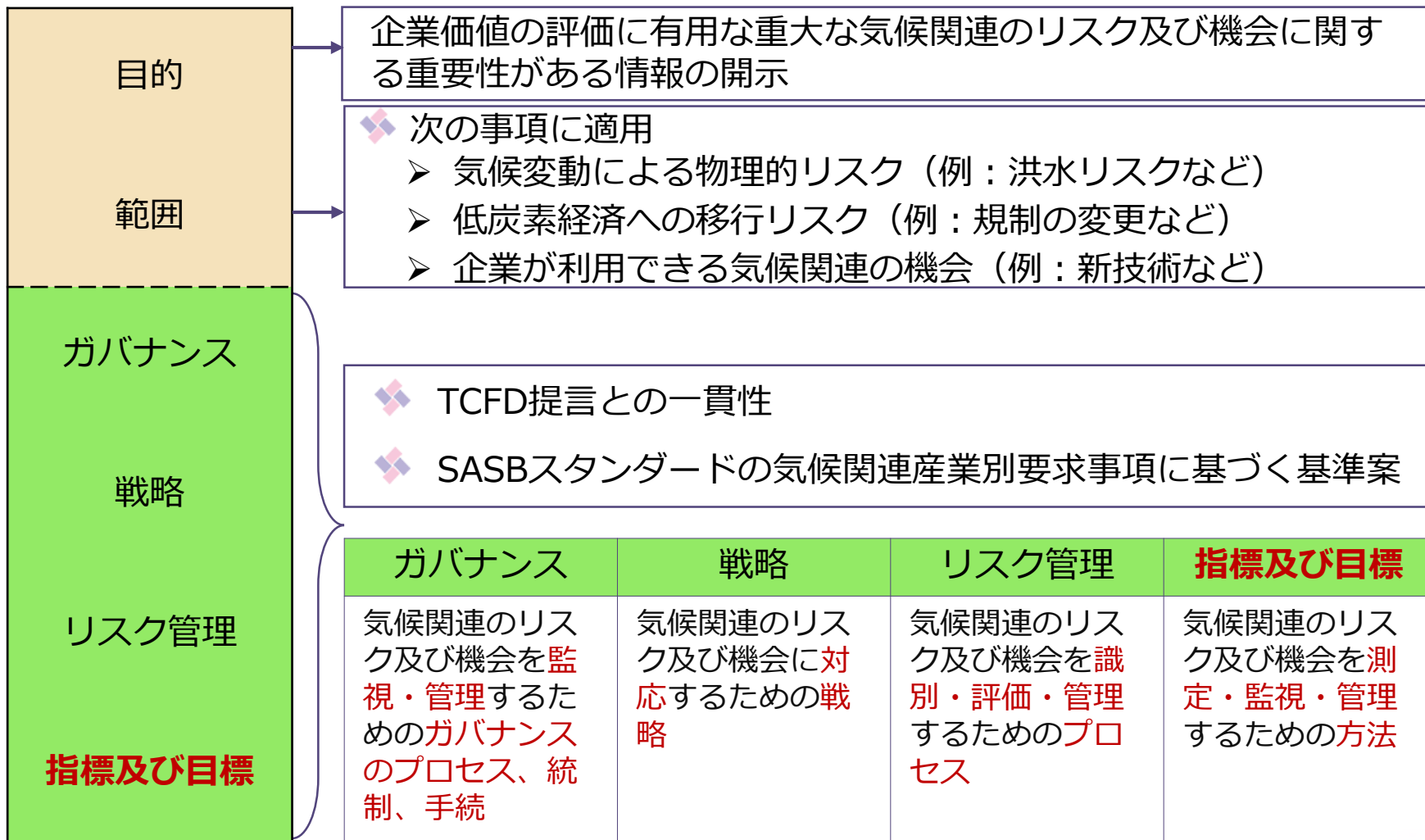
S2基準案本文

S2基準案付録B

- ① 開示の基本事項（全般的な特徴）
② テンプレートとなる共通部分



S2基準案本文



開示目的

重大な (significant) 気候関連の**リスク及び機会**を企業がどのようにして**測定、モニタリング及び管理**するのかについて理解できるようにすること

◆ 開示が要求される指標及び目標

1. 産業横断的指標 カテゴリー

- ▶ 温室効果ガス (GHG) 排出
- ▶ 移行リスク
- ▶ 物理的リスク
- ▶ 気候関連の機会
- ▶ 資本投下
- ▶ 内部炭素価格
- ▶ 報酬

例示的ガイダンスに、移行リスク、物理的リスク、気候関連の機会、資本投下の指標の例が示されている

2. 産業別指標

- ▶ SASBスタンダードに基づく11セクター・68産業に関連する主な指標が示されている
- ▶ 持続可能な産業分類システム (SICS) に従った分類

3. 使用した他の指標

- ▶ ボードや経営者が識別した目標の進捗測定に使用している他の指標を開示

4. 気候関連の目標

- ▶ 気候関連の**リスクの緩和・適応**、気候関連の**機会の最大化**のために企業が設定した目標

S2基準案の概要 指標及び目標

産業横断的指標カテゴリーに関連する情報として、温室効果ガス（GHG）排出に関する開示が求められる

開示要求		
スコープ1 GHG排出量	<ul style="list-style-type: none">❖ 排出総量 (CO2換算トンで表示)❖ 排出原単位 (物理的/経済的生産量当たりのCO2換算トンで表示)	<ul style="list-style-type: none">❖ GHG排出量を、以下に分けて開示<ol style="list-style-type: none">① 連結会計グループ（親会社・子会社）② 関連会社・JV・非連結子会社等のグループ❖ ②の排出量を含めるために使用したアプローチ (例：GHGプロトコルにおける出資比率や経営支配に基づく方法など)、その選択理由、開示目的に照らした説明
スコープ2 GHG排出量		
スコープ3 GHG排出量	<ul style="list-style-type: none">❖ GHGプロトコルを用いて計算	<ul style="list-style-type: none">❖ 排出量の測定に含まれるカテゴリー❖ 排出量の測定にバリュー・チェーン構成企業からの情報を含める場合、その測定基礎 (開示しない場合はその理由)

(注) GHGプロトコル（「温室効果ガスプロトコル事業者排出量算定基準」）は、温室効果ガス排出目録（一国が1年間に排出・吸収する温室効果ガスの量を取りまとめたデータ）を作成する事業者や他の種類の組織に対して、基準と指針を提供

2. 産業別開示要求（付録B）

- ❖ 産業別開示要求は、**SASBスタンダードをほぼそのまま導入**（一部、国際的な適用可能性のための修正、金融セクターに関連する指標の追加あり）
- ❖ 産業ごとの**開示トピック**（各産業の企業にとって重要性のある可能性が最も高い気候関連のリスクと機会）を**識別**
- ❖ 開示トピックに関連する、企業価値評価に資する情報の開示につながる可能性が最も高い**指標を特定**
- ❖ 企業の活動の規模を定量化し、データを規格化・比較可能にするための**活動指標**を上記の指標とあわせて特定
- ❖ 複数の産業にまたがる場合（例：**コングロマリット企業**）は、複数の産業に基づく開示要求が適用される場合がある

4. 気候関連の目標

- ❖ 目標への到達に向けた**進捗**を評価するための**指標**
- ❖ 気候関連のリスクと機会に対処するために設定した**具体的な目標**
- ❖ 目標が**排出総量**と**排出原単位**のいずれか
- ❖ 目標の**目的**（例えば、緩和、適応、又はセクターや科学に基づく取組みとの適合性等）
- ❖ 気候変動に関する最新の国際的合意（パリ協定等）において作られた目標との比較
- ❖ 第三者機関による**検証の有無**
- ❖ **セクター別脱炭素アプローチ（SDA）**の使用の有無
- ❖ 目標が適用される**期間**
- ❖ 進捗測定**の基礎となる期間**
- ❖ **マイルストーン**又は**中間目標**

指標及び目標 TCFD提言との比較

TCFD提言の推奨される開示	気候関連開示の公開草案（S2基準案）
<p>重要性がある場合、関連する気候関連のリスク及び機会の評価及び管理に使用された指標及び目標を開示する</p>	<p>重大な気候関連のリスク及び機会をどのようにして測定、モニタリング及び管理するのかについて理解する。これらの開示は、企業が設定した目標に向けた進捗を含め、企業がどのように企業の業績を評価するのかについて利用者が理解できるようにしなければならない</p>
<p>推奨される開示 a) 組織が、自らの戦略とリスク管理プロセスに則して気候関連のリスク及び機会を評価するために使用した指標を開示する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 公開草案は、TCFDガイダンスと同じ産業横断的指標カテゴリーを要求する ❖ しかし、公開草案は、企業の産業及び活動に関連する産業別指標の開示を要求する点で異なる
<p>推奨される開示 b) スコープ1、スコープ2及び当てはまる場合はスコープ3の温室効果ガス（GHG）排出、並びに関連するリスクを開示する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ TCFDガイダンスと整合的に、公開草案は、GHGプロトコルの使用、及び排出総量及び排出原単位の開示を要求する ❖ 公開草案は、以下のように、温室効果ガスについて異なる開示上の取扱いを要求する <ul style="list-style-type: none"> ▶ スコープ1及びスコープ2について、(1)連結会計グループ、及び(2)関連会社、共同支配企業、非連結子会社又は連結会計グループに含まれない関係会社に関し、排出量についての別個の開示 ▶ スコープ3排出の開示が要求される

指標及び目標 TCFD提言との比較

TCFD提言の推奨される開示	気候関連開示の公開草案（S2基準案）
<p>推奨される開示 b) スコープ1、スコープ2及び当てはまる場合はスコープ3の温室効果ガス（GHG）排出、並びに関連するリスクを開示する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ TCFDガイダンスは、データ及び方法論が許すならば、アセット・マネージャーが、各ファンド又は各投資戦略について、所有する資産及び加重平均炭素原単位（WACI）に係るGHG排出を開示することを推奨する。これらの排出は、金融向け炭素会計パートナーシップ（PCAF基準）又は比較可能な方法論によって開発された、金融産業についての国際GHG会計及び報告基準に従って計算すべきである ❖ 公開草案は、銀行及びアセット・マネージャーのファイナンスに係る排出の計算について、WACI又はPCAFの方法論の使用を明示的に述べていない。しかし、ファイナンスに係る排出及びファシリテーションに係る排出について提案している産業別開示要求は、PCAFの方法論に立脚している
<p>推奨される開示 c) 組織が、気候関連のリスク及び開会を管理するために使用した目標並びに目標に対するパフォーマンスについて記述する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 公開草案は、以下の開示要求についてTCFDガイダンスとは異なる <ul style="list-style-type: none"> ▶ 目標は、気候変動に関する最新の国際的合意において作られたものとのように比較するのか、及びそれは第三者により検証されているのか ▶ 目標はセクター別脱炭素化アプローチを用いて算定されたか

